

報道関係各位

2026年7月23日
Gunze株式会社

**京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会「顔から京都」連携企画
Gunze博物苑で企画展「顔・かお・カオ」を7月25日（土）から開催
-創業者・波多野鶴吉夫妻の肖像写真を展示し、京都の蚕糸業の歴史と創業の精神を紹介-**

Gunze株式会社（本社：大阪市北区、社長：岡 高広）は、京都府立京都学・歴彩館で開催中の「令和8年度 京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会『顔から京都』」連携企画として、Gunze博物苑（京都府綾部市）で企画展「顔・かお・カオ」を7月25日（土）から開催します。

「顔から京都」は、京都府内の博物館・美術館が共通テーマのもとに連携し、京都の歴史や文化の魅力を発信する合同展覧会です。今年度は「顔」をテーマに、古代から現代までの人物や文化を多彩な視点から紹介しています。

Gunze博物苑では、「Gunze創業者と蚕が見つめた未来」をテーマに、1896年（明治29年）に京都府綾部市で創業したGunzeの創業者・波多野鶴吉と妻・はなの肖像写真を展示します。地域産業の発展に尽力し、「共存共栄」の理念を掲げた波多野夫妻の歩みを通して、京都の近代蚕糸業の歴史や文化、そしてGunzeの「創業の精神」を紹介します。

また本企画展は、京都府綾部市を中心に進めている波多野夫妻を主人公としたNHK連続テレビ小説の誘致活動を応援するとともに、創業者の理念や精神を次世代へ伝える機会として位置付けています。

Gunzeは今後も、創業の地・京都とのつながりを大切にしながら、地域文化の振興と歴史・文化の継承に貢献してまいります。



＊錦絵も
展示します

顔・かお・カオ

～Gunze創業者と蚕が見つめた未来～

2026年7月25日～9月6日
10:00～16:00

＊火曜日と8月9日～15日は休館

会場：Gunze博物苑 未来蔵2階
入場無料

綾部から世界へ 地域とともに歩んだ軌跡

“顔”をキーワードに、明治時代、何鹿郡（綾部市）の地場産業として発展した蚕糸業と、その立役者となった波多野鶴吉の功績を振り返ります。

■Gunze博物苑「顔・かお・カオ」企画展について

期 間	2026年7月25日（土）～9月6日（日） ※休館日：毎週火曜日および8月9日（日）から8月15日（土）
開苑時間	10:00～16:00
会 場	Gunze博物苑 未来蔵2階（京都府綾部市青野町膳所1番地）
ホームページ	https://www.gunze.co.jp/gunzehakubutu/
入苑料	無料
主な展示内容	・創業者・波多野鶴吉夫妻の肖像写真 ・養蚕業を題材にした錦絵 ・養蚕業およびGunzeに関する歴史資料

■ グンゼ博物苑について

1996年、グンゼ創立100周年に、大正時代に使用していた繭蔵をリニューアルして開苑した展示施設です。2016年の120周年を機に再リニューアルし、「創業蔵」「現代蔵」「未来蔵」「集蔵」に展示内容を再構成しました。

- ・創業蔵：1896年の創業以来、地域と共に歩んできたグンゼの原点を展示。
- ・現代蔵：繊維からプラスチック、メディカル事業へと進化した現在の技術を紹介。
- ・未来蔵：持続可能な社会の実現に向けた、サーキュラーメーカーとしての未来像を提示。
- ・集蔵：地元の展示会、発表会など、各種イベントに利用できる多目的スペース。



■ 令和8年度 京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会について

期 間	2026年7月11日（土）～9月6日（日） ※休館日：7月20日（月・祝）、8月11日（火）、8月12日（水）
開館時間	平日 9:00～18:00、土・日 9:00～17:00
会 場	京都府立京都学・歴彩館 1階 展示室（京都市左京区）
入館料	無料
グンゼ展示内容	・創業者・波多野鶴吉に関する資料 ・養蚕業を題材にした錦絵 ・養蚕から製糸、織物までの一連を描いた掛け軸 ・蚕の画像 ・昭和40年代のグンゼ肌着製品のポスター
主 催	京都府ミュージアムフォーラム、京都府立京都学・歴彩館

以上

本件に関するお問い合わせ先

報道関係の方からのお問い合わせ

グンゼ株式会社 コーポレート広報室 TEL:06-6348-1314 （担当/野中）

お客さまからのお問い合わせ

（月～金）グンゼ株式会社 綾部本社 人事総務部 TEL:0773-42-3181 （担当/天橋）

■グンゼ博物苑ホームページ <https://www.gunze.co.jp/gunzehakubutu/>